

## 「仰げば尊し」「蛍の光」

3月1日、第44回卒業証書授与式を無事終了することができました。ありがとうございました。卒業式には欠かせない卒業生、在校生そして全校生徒による合唱は迫力があり、昭和まで卒業式の定番だった「仰げば尊し」は特に感動し、在校生による送別の歌「蛍の光」にも懐かしさを感じました。「仰げば尊し」の歌詞の意味がわからず「我が師の恩」を「和菓子の恩」と勘違いしていたことや、「今こそ別れめ」を「今こそ別れて」と歌い、先生によく注意されたことを思い出しました。さらに、合唱練習の時に驚いたことがあります。それは、生徒の半数近くが「仰げば尊し」「蛍の光」を知らなかったということです。この時、今の生徒は「仰げば尊し」「蛍の光」を知らないのかと思いました。つまり私は知っていて当たり前だろうと思っていたことです。そして、ある言葉が口から出そうになりました。「最近の若者は・・・」です。

「最近の若者は」の後に続くのは批判的な言葉がほとんどです。この「最近の若者は」という言葉は、5000年前の古代エジプトの遺跡の壁画や遺跡に「最近の若者はダメだ。私が若い頃は・・・」と記されていたそうです。古代ギリシャの哲学者として有名なプラトンも「最近の若者は年長者を敬うこともせず・・・」と言っていたと残されています。もちろん日本でも、平安時代の「枕草子」や鎌倉時代の「徒然草」にも「最近の若者は」に通じる言葉が見られます。

練習の後で、生徒から「聞いたことはあるが・・・」「アレンジした歌なら歌えるけど」「意味がわからない」という答えが返ってきました。平成からは時代の変化や恩師への感謝を強要しているという考え方、古い日本語の表現を理解することが難しいなどの理由から歌われなくなったようです。また、コロナの影響から、実際歌ったことがなかったり、マスクのため、人が声を出して歌う姿を見ていなかったりしたことも理由として考えられます。このことから、生徒の皆さんが知らなかったことには理由があり、それを知らなかった私の思い込みが、生徒の皆さんとのギャップを生んでいたことに気づきました。私も中学生、高校生の時に親や大人から言われて、なんでこんなことを言われるのかと感じ、腹を立てていた経験があります。最初は残念でしたが、この2曲は知っておいてほしいという気持ちから、練習の時に思わずマイクを通して歌ってしまいました。

皆さんは今後人との関係の中で、「こんなことも知らないのか」「今の若い者は・・・」と思うことがあるかもしれません。しかし、知らないことやできないことにも理由があることを理解して下さい。そして、相手の立場を考えてあげて忘れないでください。「仰げば尊し」の歌詞の内容を簡単に説明すると、「先生への感謝」「友達への感謝」「学校生活への感謝」と私は思います。3番の歌詞には蛍雪の功にも通じ、昭和の卒業式は「蛍の光」とリンクしていたと改めて感心しました。「学校生活への感謝」の中には、保護者の皆さんを初め、卒業生を支えてくれた全ての人への感謝を感じることができます。私も強要された感謝ではなく皆さんから恩師として本当に感謝してもらえるようにこれからも努めていきたいと思っています。



【第3学年担当教員】  
～第44回卒業証書授与式より～

## 第 44 回卒業証書授与式

3月1日（金）午前10時から、第44回卒業証書授与式を行いました。温かい拍手に包まれて卒業生が入場したあと、総代の森本一平さんに塩苧校長から卒業証書が授与されました。

式辞で塩苧校長は、「失敗を恐れずにまずは行動。失敗したら、その失敗としっかり向き合い、次に失敗しないためにどうしたらよいかを考える。そして小さなことをコツコツと積み重ね、夢や目標に近づき、かなえていく。そんな人生を皆さんに歩んでほしいと思います。」と饒の言葉を送りました。

須田理事長の告辞に続き、後援会長八ツ橋秀和様と同窓会長高田泰範様から祝辞をいただきました。卒業生は、それぞれの言葉を心に刻んでいました。

送辞では、在校生代表の小島雅偉さんが、お世話になった卒業生への感謝の気持ちを伝えました。

これを受けて、卒業生代表の三浦歩夢さんが答辞で、「高朋高校に入学して本当によかったと強く思っています。皆さんや先生方と過ごした三年間は、かけがえのない思い出です。」と充実した高校生活を振り返り、感動と感謝の気持ちを伝えました。

式は終始、厳粛かつ温かな雰囲気の中で執り行われ、出席者全員で卒業生の門出を祝いました。

式の終了後、卒業生は、教室で最後のホームルームを行ったあと、在校生、保護者、教職員が見送る中、晴れ晴れとした表情で学び舎を巣立っていきました。



【卒業証書授与】



【式辞】



【答辞】



【最後のHR（A組）】



【最後のHR（B組）】



【最後のHR（C組）】

## 震災復興のために ～能登半島地震災害義援金～

本校では、2月2日（金）から生徒会の役員が中心となって、能登半島地震災害義援金の募金活動を行いました。校内で行った生徒や職員からの募金に加えて、6日（火）と7日（水）の朝の時間帯には、東富山駅前前で一般の皆さんや他校生の皆さんにも協力を呼びかけました。この活動により、43,901円の義援金が集まりました。集まった義援金は、2月26日（月）に、生徒会長の小島雅偉さん（2A）と生徒会役員の入谷颯乙さん（2B）が日本赤十字社富山県支部に寄付してきました。この義援金は、富山県内の被災された方々への支援に活用されるということです。ご協力いただいた皆様のご厚意に感謝申し上げます。



### 【新年度4月の主な行事予定】

※変更になることがあります

4月4日(木)	教科書購入	4月12日(金)	生徒会選挙 創校記念式・記念講演 第3学年保護者会
4月6日(土)	午前：退任式、新任式、始業式 午後：入学式	4月16日(火)	生徒会選挙当選認証式
4月8日(月)	振替休業日（6日の振替）	4月18日(木)	交通安全教室、生徒会役員任命式
4月9日(火)	対面式	4月19日(金)	内科検診
4月10日(水)	前期生徒会選挙告示 歯科検診（2，3年生）	4月26日(金)	生徒総会
4月11日(木)	身体測定		

※4月12日(金)の創校記念式と記念講演（講師：飯山昶朗氏）は、保護者の皆様も参加できます。